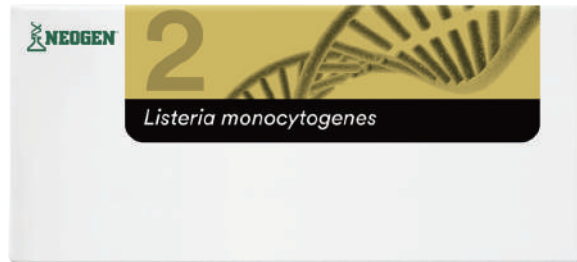


病原菌検出アッセイ2 リステリア・モノサイトゲネス用

独自の検出テクノロジーをもちながら、
よりシンプルな手順でリステリア・モノサイトゲネス
を検出、試験開始の翌日に判定が可能です。



食品衛生検査
指針収載



AOAC
OMA



AFNOR
Validated
Method

「食品衛生検査指針 微生物編 改訂第2版 2018」に
記載されている妥当性確認されたリステリア・モノサイトゲネス
の試験法です。

特長 1

ライシス液及び試薬の改良により、
1回の選択増菌^{*1}を実現、迅速に試験を実施できます。

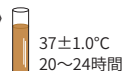
^{*1} 原乳及び未加工食肉は一次選択増菌培養の後、二次選択増菌を行います。

1 《選択増菌》



1' 《二次選択増菌》

- 原乳
- 未加工食肉



37±1.0°C
24~30時間

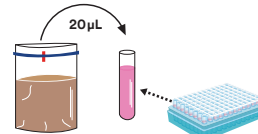
※ 各培養条件の詳細は取扱説明書をご覧ください。

2



ライシスチューブは使用する前に
室温に戻し転倒混和してください。

3



増菌培養後、ライシスチューブに
20µL 移し替えます。

24~30時間

4

00:15:00

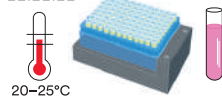


99~101°C

ライシスチューブを100±1°C、
15分間加熱します。

5

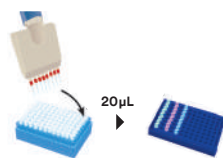
00:05:00



20~25°C

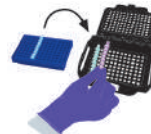
20~25°Cで
5~10分間冷却します。

6



上澄みを試薬チューブに20µL 移し替え、
ピペットで5回チューブ内の液を攪拌さ
せます。付属のキャップでシールします。

7



スピードローダートレイに
チューブを移し替えます。

8

最短15分で陽性判定

00:15:00



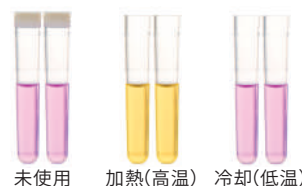
スピードローダートレイを機器
にセットし、スタートさせます。

2時間以内

特長 2

色変化による目視確認や誤判定を防ぐテクノロジーで、
よりシンプルな操作を実現します。

- ライシス液の加熱処理の状態が、試薬の色変化によって目視で確認
できます。(低温:ピンク色、高温:黄色)
- 独自のテクノロジーによりライシス液の加熱時に試料中の夾雑物が
自然に取り除かれ、誤判定を防ぎます。



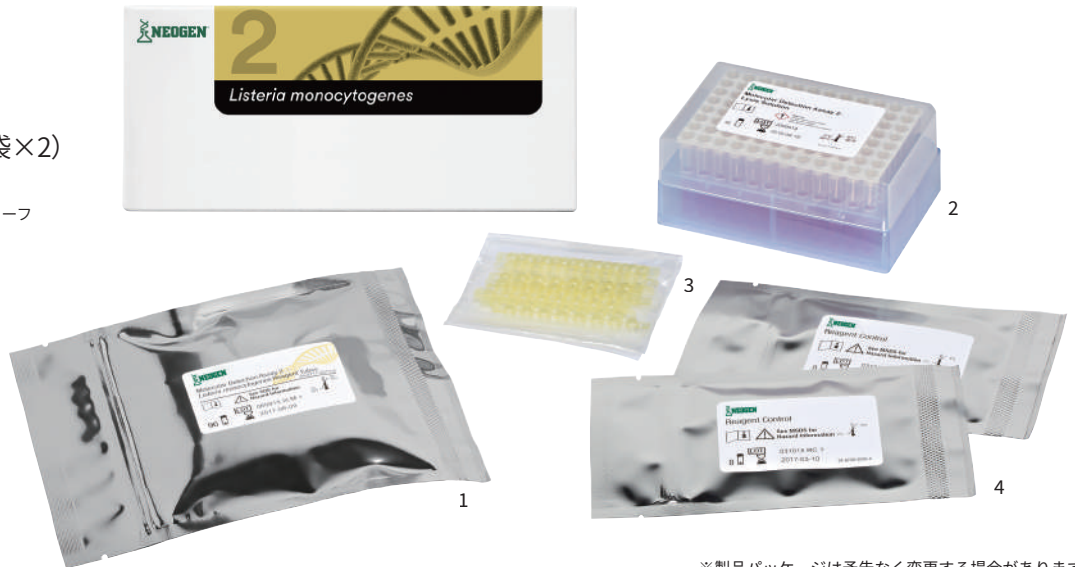
加熱、冷却時は
キャップ不要です。

病原菌検出アッセイ2 リステリア・モノサイトゲネス用

キット内容

- 1 試薬チューブ
- 2 ライシスチューブ
- 3 試薬チューブ用キャップ
- 4 陽性コントロール(8本/袋×2)

※陰性コントロールは含まれていません
 ※陰性コントロールとして、滅菌済みのハーフ
 フレーザーブロスなどを使用します



※製品パッケージは予告なく変更する場合があります

ご準備いただく培地

デミフレーザー ブロス



フレーザー ブロス サプリメント

培地をオートクレーブ後冷却してから添加します。
 (選択増菌培地1Lに1本(10mL)を添加)



試薬 培地

製品番号	製品名	サイズ・容量	保存条件
MDA2LMO96	病原菌検出アッセイ2 リステリア・モノサイトゲネス用	96 ウェル/キット	2 ~ 8°C
MDMC96AP	マトリックスコントロール 病原菌自動検出システム用		
BP0118500	デミフレーザー ブロス	500g / ボトル	2 ~ 30°C
BP0220010	フレーザー ブロス サプリメント	100mL (10mL / 本 × 10)	2 ~ 8°C

NEOGEN、ペトリフィルムは、Neogen社の商標です。

ネオジェンジャパン株式会社

<https://www.neogen.jp/>

NEO-214-A(0624)e.

Please Recycle. Printed in Japan.
 © Neogen Corporation. All rights reserved.